

# キッチンカー参入支援

## 三井住友海上など、一貫で

三井住友海上火災保険と日本キッチンカー経営審議会（東京都千代田区）など4者は、

キッチンカー事業への参入をトータルで支援するサービスを10月に始める。車両や厨房機器の調達、保険の手配、出店場所の紹介までを一貫してサポートする。コロナ禍を契機にキッチンカー事業に参入する企業や個人は増えたが、車両価格の高騰や出店手数料の高止まりなどが課題とな

っている。これらの課題を解決し、市場活性化につなげる。

三井住友海上は自動車保険やキッチンカー専用保険を提供する。日本キッチンカー経営審議会は出店場所を紹介するほか、三井住友ファイナンス&リースは厨房機器のリース、住友三井オートサービスは車両のリースを提供する。事業計画に合わせ、車両などは購入かリースかを選べる。資金調達に課題を抱

える人向けに、三井住友海上と業務提携するインパクトサークル（東京都港区）の独自審査でローンやリースを組めるようにする金融サービスを紹介する。

出店場所はマンションの遊休地やオフィスビル、ショッピングモールなどで、新規参入だけでなく、既存事業者の事業拡大も後押しする。

キッチンカーは、コロナ禍の「三密回避」や自宅・職場近くまで訪れる利便性から、需要が拡大し、東京都内だけでも2018年度の3002台から21年度に3377台に12%増加した。一方、車両価格の上昇や出店場所を探すのが難しいといった課題も指摘されている。

4者は互いの強みを持ち寄り、ワンストップで課題解決を支援し、開業を促す。



コロナ禍にキッチンカーの需要が拡大した